

みょうじょうのことごと

第十一集
明星神社社務所

厳しかった冬も終わり、めでたく春本番になりました。サクラはもう終わりですが、これからいろいろな花が咲きますので、景色は華やかになりますね。個人的には、藤の花を楽しみにしています。

さて、明星神社も新年度に入り、体制が少し変わりました。今回の『みょうじょうのことごと』は、こうした運営面も含めて令和7年度序盤の明星神社の動きをお伝えしていきます。

【令和七年 春季大祭・祈年祭を、つつがなく斎行いたしました】

去る4月13日（日）に、令和7年度最初の祭礼である「春季大祭・祈年祭」を斎行いたしました。

この祭礼は、春の農作業を開始するにあたり、その年の五穀豊穰を祈る祭礼です。古えの日本では、神さまは春になると冬の間住まわれている山の上から里に降りてこられ、人々の米作りや暮らしを見守られるとされてきました。この春季大祭は、山から里に神さまをお迎えする祭りでもあるのです。

そんな今年の出発点的な祭礼なのですが、当日は雨がかなり強く降っていました。超晴れ男の宮司さんパワーも、今回は残念ながら効かなかったようです。なにせ今朝の天気予報の降水確率は100%だったのですから、仕方がないですね。。。

でも、10時の祭礼開始時には各地区自治会長さんと氏子総代さんは全員集合してくださり、春季大祭は始められました。

雨ですので、今日は拝殿の中からお祓いをします。これも、実は初めて見る光景です。

このあとは、社殿前でのお祓い、祝詞奏上、お供物を神さまに捧げる献饌、さらに参列者代表による玉串奉奠と祭祀は進み、令和7年度の春季大祭は滞りなく終了しました。



今回の祭礼は天気が残念でしたし、この荒れ模様の天気のためでしょうが、ご参詣の氏子様も心もち少なかったのが、本年度の最初の大きな祭礼としては寂しかったなあ、というのが正直な感想です。でも、お天気には文句は言えませんし、こういう時もあるよねと、神社総代さんやご参詣に見えた方々とお話できたのは、この人数ならではの距離の縮まりのおかげだったと思います。

さて、次の祭礼は良いお天気に恵まれますようにと、明星神社の神さまにお願いしなくてはね。

【 春季総代会議を開催しました 】

「春季大祭・祈年祭」の後に、令和7年度初めての総代会議を行いました。
会議の議題は、以下の通りでした。

1. 令和6年度の決算報告
2. 令和7年度の体制紹介
3. 令和7年度 祭儀その他日程の紹介
4. 令和7年度の活動方針（案）

令和7年度の明星神社活動方針は、昨年度の活動を引き継ぎながら、より推し進めていくものとなります。

活動方針は、以下の3点であります。

1. 氏子各位と神社の絆を、さらに強く
2. デジタル活用戦略の推進
3. 第6回二十年祭（令和11年2月予定）に向けての活動展開

それぞれの活動の詳細につきましては、各自治会に詳細な資料と議事録と資料を回覧いたしますので、どうぞご覧ください。

以上